



在ミュンヘン日本国総領事 - 丸山茂治氏、AUTOMATICA 2006 へ

2006 年 5 月

業界大注目のなか、2006 年 5 月 16 日(火)からドイツ・ミュンヘンにて開催された「AUTOMATICA 2006 - 第 2 回 国際オートメーション専門見本市 ~アセンブリ・ロボット・ビジョン」へ、丸山茂治 在ミュンヘン日本国総領事がご視察にお見えになり、同メッセを統括するミュンヘン見本市会社 常務取締役 ノルベルト・H・バークマンと、オートメーション・ロボット業界の今後、ならびに AUTOMATICA について意見交換が行われた。その概要は次のとおり。

日本とドイツは、自他ともに認める世界をリードする技術立国である。両国の基幹産業には、自動車、エレクトロニクスなどがあるが、これら産業からのオートメーションソリューション需要の高さが、両国のオートメーション・ロボット業界を発展させてきた。現在、飲料・食品、化学、金属産業などへと需要層が拡大してきているが、自動車、エレクトロニクス産業の同業界における重要性は不変である。

ロボット導入率世界第 1 位(日本)・2 位(ドイツ)を占めるなど、世界のオートメーション・ロボット業界をリードする日本・ドイツ両国には、オートメーションソリューションを提供する企業が多数あり、至極当然の流れから競争が激化しているため、常に先を行く技術・ソリューション開発への意欲が高い土壌が形成されている。このような企業間競争、そして業界先進国日本・ドイツが互いを刺激しあうことで得られる相乗効果が、世界的な業界発展に寄与している。

これは、プロトタイプロボット、サービスロボット開発への両国の取り組みにもあらわれている。同分野は、日本が最も力点をおいて取り組んでいる国策のひとつであり、また近年世界がその動向を注視する領域である。日本・ドイツをはじめ、各国による技術開発・応用が激化している一方で、これらロボットが、例えば人間の職をおびやかす、あるいは人間に危害を加える存在になるとの指摘があるが、応用分野・範囲の明確化により共存へ向かうと見るのが正しいであろう。なかでも、今後の成長の可能性として注目されている介護分野へのプロトタイプ・サービスロボットの応用などは、両国が直面する『少子高齢化』の流れに対応した開発であり、期待が高い分野であると同時に、人間とロボットが共存できることを証明する一例と言える。

AUTOMATICA のような世界的業界専門メッセへ、より積極的に参加することは、業界最先端の地位に君臨する日本・ドイツ両国の技術力を世界にアピールし、ビジネスチャンス拡大のみならず、両国の世界的なプレゼンスを更に高める上でも非常に効果的である。

次回 AUTOMATICA 2008 は、ドイツ・新ミュンヘン国際見本市会場にて、2008 年 6 月 10 日～13 日開催予定。



握手を交わす、丸山茂治 在ミュンヘン日本国総領事(右)と
ミュンヘン見本市会社 常務取締役 N.H.バークマン

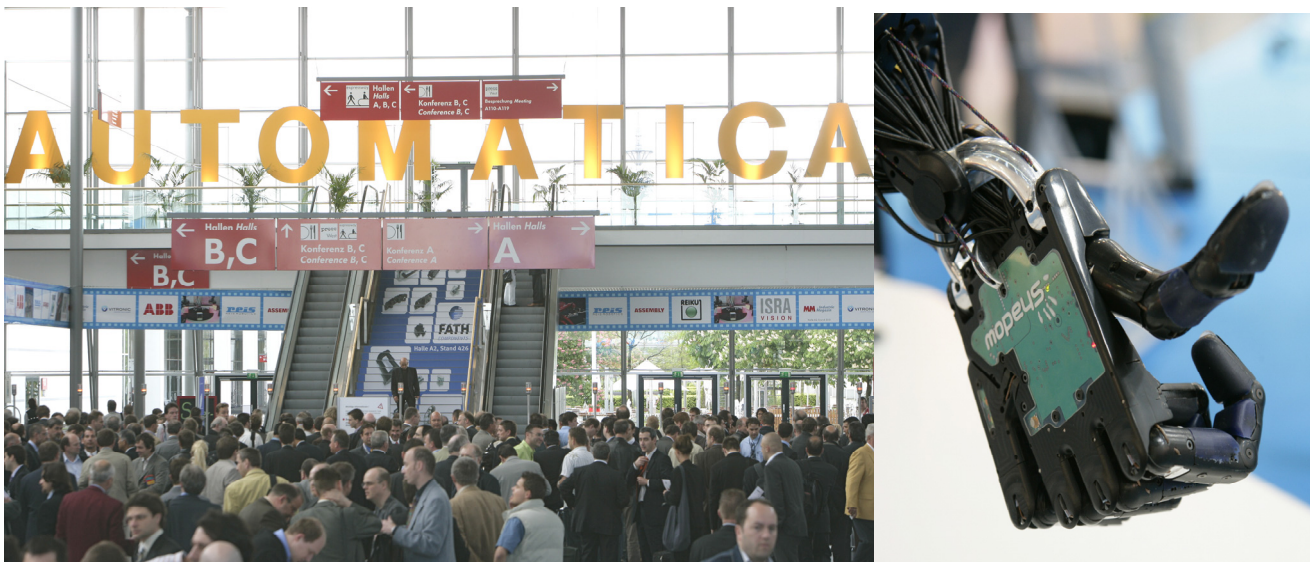
『AUTOMATICA - Assembly, Robotics, Vision』

ロボット・オートメーションの全分野が一堂に会するAUTOMATICAは、2004年からドイツ・新ミュンヘン国際見本市会場において開催されている。付加価値連鎖(value-added chain)の全てを提示することを目的としたAUTOMATICAは、ロボット、組立・操作技術、画像処理技術業界に効果的なコミュニケーション機会を提供している。このAUTOMATICAコンセプトは、ミュンヘン見本市会社ならびにドイツ機械工業連盟(VDMA)ロボット アンド オートメーション工業会により作り上げられた。なお、本メッセの出展・来場数は、ドイツ見本市自主統計協会(FKM)の監査を受けている。

『メッセ・ミュンヘン・インターナショナルグループ(MMI)』

MMIは、投資財・消費財・ニューテクノロジー分野の専門見本市を約40も主催・運営する、世界の見本市業界をリードするグループの1つ。ミュンヘンで開催されるメッセには、毎年100ヶ国以上から3万社を超える出展、そして約200ヶ国から200万人以上の来場がある。これに加え、アジア(特に上海)、ロシア、中東、南アメリカでも、業界専門メッセを主催・運営している。ドイツ国外に4つの支社と86ヶ国をカバーする62の外国代表部を持つMMIは、そのグローバルネットワークを通じ、世界各国の顧客のビジネスをバックアップしている。

さらなる情報は www.automatica-munich.com (英語 / ドイツ語など) をご覧下さい。



資料請求、出展申込み、入場券購入、各種お問い合わせ先:

メッセ・ミュンヘン・インターナショナル 日本代表部

〒102-0075 東京都千代田区三番町 2-4 三番町 KSビル 5F 在日ドイツ商工会議所内

Tel.: 03-5276-3508 Fax: 03-5276-3509 E-mail: info@messe-muenchen.jp

URL: www.messe-muenchen.jp (日本語) www.messe-muenchen.com (英語 / ドイツ語)